



平成18年11月16日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ プ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鉢 嶺 登
(コ ー ド 2 3 8 9)
担 当 者
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 C F O 小 林 正 樹
電 話 0 3 - 6 2 6 8 - 3 8 4 5

平成18年12月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年2月21日に公表いたしました平成18年12月期の通期（平成18年1月1日～平成18年12月31日）の業績予想を、下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 通期業績予想の修正（平成18年1月1日～平成18年12月31日）

（1）連結業績予想

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年2月21日発表）	30,000	1,160	620
今回修正予想（B）	30,000	550	330
増減額（B - A）	0	610	290
増減率（%）	0.0%	52.6%	46.8%
（ご参考） 前期実績（平成17年12月期）	18,096	790	1,248

（2）個別業績予想

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年2月21日発表）	25,000	1,220	650
今回修正予想（B）	25,000	730	550
増減額（B - A）	0	490	100
増減率（%）	0.0%	40.2%	15.4%
（ご参考） 前期実績（平成17年12月期）	16,646	851	475

2. 修正の理由

主として、相対的に利益率の高い事業分野の売上高が計画に比して未達の見込であることが要因であります。

当社グループは、eマーケティングを広義の事業ドメインとして、広告代理、テクノロジー、ソリューション、コンテンツの4事業分野で事業を展開しています。このうち、売上高の80%強を占める広告代理事業分野の標準的な粗利益率は15%前後、他の3事業分野合計（以下「他3分野」といいます）の標準的な粗利益率は40-50%前後でこれまで推移してきました。

今期業績計画立案に際しては、他3分野の売上構成比を、前期19%から今期は30%程度まで引き上げることで全体の粗利益率を押し上げ、増員などによるコスト増を吸収する計画でございました。しかしながら、単体における新規顧客開拓の遅れ、比較サイト事業の運営見直し、株式会社ALBA（連結子会社）における新規事業立ち上げ遅れなどにより、第3四半期経過時点において、他3分野の売上高計画比未達が濃厚であります。一方、広告代理事業分野は前年同期比80%弱の増収と依然高い成長率を記録しておりますが、第2四半期後半から発生した特定業種クライアントの広告手控えなどにより、計画比では売上高上ぶれ予定ながら他3分野の粗利益不足分を補うには至らない見込であります。

この結果、粗利益の不足が営業利益および経常利益の不足となる見込となり、上記の修正に至ったものです。

なお、特別損益および法人税等調整額として、スタイライフ株式会社（持分法適用関連会社）など保有株式の一部売却による特別利益約380百万円、単体の本社オフィス移転に伴う特別損失約70百万円、株式会社ALBA（連結子会社）の業績計画遅れに伴う繰延税金資産償却約180百万円を上記予想に含めております。

<今後の見通し>

今期7-9月期は、インターネット広告市場全体において一時的な調整ムードが伝えられ、前四半期比で減収となった同業他社も多く見られるなか、当社グループは前四半期比増収を維持し、一層のシェア拡大に成功いたしました。また、第4四半期も、営業強化などの施策により比較的好調なスタートとなっております。

今後につきましては、総合的なeマーケティングサービスを提供するという基本戦略は変わらないながら、当社のシェア拡大が著しいインターネット広告代理事業にこれまで以上に軸足を置き、さらなるシェア確保と中長期の利益成長を図っていく考えであります。

以上